

備前市事務事業評価表

事務事業名	中央公民館運営事業		コード	担当課係	備前地域公民館
			03-02-04-08	担当者	藤田かおり
事業実施期間	昭和56年度～		電話	64-1133	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	生きがいのあるまちづくり			
	小項目	公民館			
	施策	指導者の育成・文化活動の推進			

事業について	
目的	住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行うことで、住民の教養の向上・健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること
対象（誰のために）	市内在住者
内容	貸館業務・文化事業の開催及び各種団体等への連絡を行う。 住民の集いやその他公共的な催しに利用してもらう。公民館運営審議会の開催。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など	回数など	回数など
定期講座参加者数	142人		
公民館運営審議会開催回数	2回		
文化祭出展者数	189人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,776	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	15,000	受益者負担		人件費		受益者負担	
	市債		市債		市債		市債	
合計	16,776	一般財源等	16,776	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	1.95	人		人
結果指標①	結果指標名	定期講座参加者数		
	結果指標量	142		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	140,000	円	円
	単位当たりコスト①	986	円	円
結果指標②	結果指標名	文化祭出展者数		
	結果指標量	189		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	271,250	円	円
	単位当たりコスト②	1,435	円	円

事業の成果			
成果指標名	定期講座参加者数	式又は説明	中央公民館（備前地域公民館）での 主催講座における参加者数
成果指標量	17年度 142		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	200	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：社会教育法第20条
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	
コメント	文化事業の実施・講習会等の開催など、適正に行われているが、コストの削減・定期講座の参加者の増加させるために、公民館運営審議会等で検討していく。
評価区分	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	200	結果指標量②	500
目標値	結果指標量 200		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	定期講座の見直し（流行性の取り入れ）	平成19年度	市民が興味を示し、参加者増加が見込める。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

課題認識  
備前・日生・吉永地域公民館と、備前地域7地区にある地区公民館の管理運営のとりまとめを行い、市内全住民を対象に文化振興に関する各種事業を行う。  
法令に基づき設置されており、実施事業・運営は適正に行われている。

人員削減により、コストとしては、減少してきている。継続して開催している講座については、講座生からの要望も多少あるが、参加者数は減少し、マンネリ化して来ている。新規講座を考えるにあたって、市民の意見を取り入れながら、参加者の増加を図る。

市民のニーズに答えられる講座を考慮し、また、民間ボランティア等に協力してもらい、経費削減を目指して、より多くの人に参加してもらうようにする。